

令和4年度

県立広島大学公開講座

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更となる可能性があります。

専門職と語り考える 子ども家庭支援のチームワークづくり

子ども虐待、ヤングケアラー、子どもの貧困など子ども家庭支援の課題は、なおも拡大し続けています。その支援者たちもまた、疲弊し無力感を味わい、傷ついています。応援しあい支えあうべき機関や専門職間のネットワークまでもが、葛藤や困難を感じる場になってしまうのはなぜでしょう。それはどうしたら本来の機能発揮を取り戻せるのでしょうか。先駆的活動例のご紹介しつつ、チームワークづくりのヒントを共有できる場にしましょう。

日時	令和4年10月 1日(土) 13時00分~15時30分
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 教授 松宮 透高 教授 田中 聡子
会場	サテライトキャンパスひろしま 504 広島市中区大手町1丁目5-3(広島県民文化センター内)
対象	子ども家庭福祉に関連する実務経験をお持ちの専門職
定員	16名
受講料	3,000円
申込締切	令和4年9月10日(土)
問合先	県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話:0848-60-1120(平日9:00~17:00) メール:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

《 お申し込み方法 》

下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」またはQRコードからお申し込みください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=722>



- 申し込み内容確認後、公開講座係から受付メールを送信します。
※メールの双方向テストを兼ねて、受付メールにご返信をお願いします。
- 申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。
- 先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
- 定員超過等で受講できない場合は、別途ご連絡いたします。
- 電話やFAX、メールでのお申し込みは受け付けておりません。
- 合理的配慮が必要な方は、申込フォームの備考欄にご入力ください。
個別に相談の上、対応させていただきます。

※ ご提供いただいた個人情報は講座運営にのみ使用し、それ以外には一切使用しません。

《 お問い合わせ先 》

県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係
〒723-0053 三原市学園町1-1
電話:0848-60-1120(平日9:00-17:00)
FAX:0848-60-1134
メール:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

<p>受講条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 講座にはマスクを着用の上、来場及び受講してください。 • 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策で、厚生労働省が開発を進めていた「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA:COVID-19 Contact Confirming Application）」をご自身のスマートホンにインストールし、常時携帯してください。 • 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさ等ふだんと体調が違うと感じる場合、味覚障害がある場合、または濃厚接触者に同様の症状がある場合、出席をご遠慮ください。 • 飛沫感染を防ぐため、受講者間の会話はできるだけ避けてください。やむを得ない場合は、小さな声で短時間のうちに済ませるようにしてください。 • 受付では非接触型体温計で体温計測を行います。熱がある場合は出席をお断りしたり、事情をお伺いしたりすることがありますので、ご了承ください。
<p>※対面講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 受付に消毒液を設置していますので、入室前に手指の消毒を行ってください。 • 講師およびスタッフはマスクを着用します。 • 会場では受講者間の距離を保つため、着席箇所を限定します。 • 会場のドアは開放します。また、窓やドアを開放して実施することが困難な場合は、少なくとも1時間ごとに窓やドアを開けて換気を行います。ドア開放による講師の音声の聞き取りにくさや、暑さ・寒さでご不自由をおかけしますが、ご協力よろしく申し上げます。(必要に応じて、各自上着等をご持参ください。) • 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、やむを得ず変更となる可能性があります。 変更となる場合は、公開講座係よりメールでご連絡いたします。 <p>※ チラシ内にある受講条件（全文）を必ず確認して下さい。 ※ お申し込みがあった方は受講条件をご承諾いただいたものといたします。</p>

<p>内 容</p>	<p>1 議論ができ喧嘩もでき一緒にできる組織とは</p>	<p>松宮 透高</p>
	<p>チームワークの基本的な考え方を整理した上で、子ども家庭福祉におけるその意義と構造的な困難性について論じます。また、先駆的な活動例の特徴をご紹介します。参加される皆さんの体験からも、多くのヒントが頂ければと思っています。</p>	
	<p>2 「応援」しあえるチームワークづくり</p>	<p>松宮 透高 田中 聡子</p>
<p>日常的に行われるカンファレンスの場を、押し付け合いの緊張に満ちた場から「応援」し合える場にするには、どのような工夫が必要でしょうか。演習を通じてそのポイントを体験し議論しながら考えていきます。</p>		

MEMO